

コンゴ(共)月例報告
2016年11月

【ポイント】

- 6日から9日の間、ガコソ外務・協力・コンゴ人大臣は韓国の首都ソウルを訪問した。
- 15日、モロッコの首都マラケシュにて、サス・ンゲソ大統領は、第22回国連気候変動枠組条約(COP22)会合に参加し、「コンゴ盆地青色基金(Fonds Bleu)」の設立を発表した。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政

(1) プール県情勢

9日、サス・ンゲソ大統領は、プール県の住民及び政党幹部に対して「プール県で発生していることは強盗行為」、「恐怖で逃亡するのではなく、ントゥミ牧師らを孤立させ、司法の裁きにかけよう」と呼びかけた。

(2) 野党の地位、対話のための国内委員会

25日の閣議にて、国内問題を平和・合法的に協議するための「野党の地位(大統領府及び国家機関との協議を行える仕組みづくり、野党代表の選出)」、「対話のための国内委員会」に関する法案が採択された。

2 外交

(1) 二国間関係

ア 韓国

6日から9日の間、ガコソ外務・協力・コンゴ人大臣は韓国の首都ソウルを訪問し、尹・韓国外務大臣と、経済の多様化、国費留学生、外務・協力・在外コンゴ人省語学センターへの機材供与等につき協議し、覚書に署名した。

イ 米国

11日、サス・ンゲソ大統領は、トランプ米次期大統領宛に書簡を発出し、同氏の勝利を祝福した。

ウ 中部アフリカ

(ア)17日、ガコソ外務・協力・コンゴ人大臣は、ベルギーの首都ブリュッセルにて開催された中部アフリカ支援国会合に参加し、5年間で10億CFAフラン(1500万ユーロ)の無償供与を約束した。

(イ)コンゴ(共)政府は1500名の難民申請を却下した。対象者は、既にコンゴ(共)に長期滞在している者であり大部分はコンゴ(民)人、その他コートジボワール人、中央アフリカ人、ルワンダ人。

(2) 多国間関係

ア 気候変動枠組条約締結国会議(COP22)

15日、モロッコの首都マラケシュにて、サス・ンゲソ大統領は、第22回国連気候変動枠組条約(COP22)会合に参加し、「コンゴ盆地青色基金(Fonds Bleu)」の設立を発表。同基金は、国連アフリカ経済委員会の枠組みで、コンゴ盆地の森林にかかる持続可能な事業に対して、毎年、総額100万ユーロの補助金を供与する。

イ アフリカ・アラブ首脳会議

23日、赤道ギニアの首都マラボにて、サス・ンゲソ大統領は、第23回アフリカ・アラブ首脳会議に参加した。同会合のマージンにてコンデ・ギニア大統領と会合を行いアフリカ・世界情勢につき協議した。

3 経済:品質表示法の発令

16日、コレラ対外貿易・消費省は、輸入品約10品(化粧品、医薬品、化粧品、殺虫剤、電化製品等)に関して、品質表示法(記載言語:仏語)を発令し、2017年1月から適用する旨発表した。